

2025年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

筆記試験 言語学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験記号番号

1 / 6

成
績

2025年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

筆記試験 (言語学 専攻分野)

問題I. 以下の文章を読み、問 (i) ~ (iii) に答えなさい。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

(David Gil. 2003. English goes Asian: Number and (in)definiteness in the Singlish noun phrase. Frans Plank. Ed., *Noun phrase structure in the language of Europe*, pp. 467-514, Mouton de Gruyter. を一部改編して抜粋)

- 問 (i) 下線 (i) について、Bazaar Malay は Standard Malay とどのような違いがあると考えられるか。具体的に考察しなさい。
- 問 (ii) 下線 (ii) について、Singlish が他の English の変種に比べ特別であるのはなぜか。本文の内容などを踏まえて具体的に説明しなさい。
- 問 (iii) 下線 (iii) のような現象を科学的に検証するためにどのような研究が有用と考えられるか。この文章の内容を踏まえて調査研究案を示しなさい。

問題 II. 自分の関心ある言語事象について概説し、それを研究する意義、目的、方法、予測される結果を具体的に述べなさい。その研究の特徴を、一般言語学および関連領域の文脈の中に位置づけながら説明しなさい。

問題 I と II の回答は次ページ以降にまとめて記すこと。

